

## 【令和5年度 英語科授業改善推進プラン】

英語科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

<ul style="list-style-type: none"> <li>・CAN-DOリストに基づき、目標をもって英語活動に取り組める生徒</li> <li>・失敗を恐れず、積極的に英語を話せる生徒</li> <li>・中学校卒業後も、継続的に英語学習に主体的に取り組める生徒</li> </ul>
--

学習状況及び課題

	1 学年	2 学年	3 学年
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読において、積極的に声を出して取り組む生徒が多い。暗唱テストにも前向きに挑戦する生徒がいる反面、取り組んでいるが暗唱できない生徒もいる。</li> <li>・英単語を発する、読むことができるがそれを文字として書くことを苦手とする生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生になり、音読ができない生徒がかなり少なくなったが、英語らしい発音ができしていない。</li> <li>・宿題や英作文の課題などの提出率はよく、英語に対する意欲が高いが、提出しない生徒が固定化しつつある。</li> <li>・提出物や小テストの結果などから意欲的に取り組む生徒が多い。ただ、取り組んでいるが単語の再テスト対象者になる生徒も多くいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に意欲的に臨み、与えられた課題にしっかりと取り組む生徒が多い。</li> <li>・音読テストやインタビューテストなどのパフォーマンステストに主体的に取り組んでいる。</li> <li>・自分の考えや意見を正しい英文で表すことが苦手な生徒が多い。</li> </ul>
指導上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いていないために指導を聞き逃す生徒がいる。</li> <li>・教科書の音読に時間がかかる生徒がいる。また、書字に課題のある生徒もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語らしい発音を個々に確認する十分な時間がない。</li> <li>・単語をまだ、きちんと書けない生徒が多くいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部、英語学習に対する強い苦手意識をもつ生徒がいる。</li> <li>・自分の考えを即興で伝える活動に苦手意識をもつ生徒が多い。</li> </ul>

改善プラン

	1 学年	2 学年	3 学年
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークを宿題として課し、授業で学習した内容を家庭で復習する習慣を身に付けさせる。</li> <li>・ビンゴやペアでの単語の確認など、単語を書いたり、意味を覚えたりする活動を帯活動として日常的に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニング、音読練習など習熟度によって学習のペースに差が出る活動においては、クロームブックを活用し、個人のペースに合わせた学習環境を与える。</li> <li>・日常の帯活動として、ワードチェックを行い、単語の反復練習を2人組で行う。</li> <li>・単語の小テストを定期的に行い、合格点になるまで再テストを繰り返し行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や、帯活動で使っている教材以外にも、Oxford Reading Tree等の多読用図書を活用して長文を読む機会を増やす。</li> <li>・授業でまとまりのある英作文を書く機会を増やし、家庭学習ではライティングノートで練習を積む。</li> </ul>

指導面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の指示は、全員の顔が上がっていることを確認してから行う。</li> <li>・音声と文字の関連性（フォニックス）について副教材を活用して繰り返し指導し定着させる。</li> <li>・デジタル教科書の音声を聞きながら音読するよう指導する。教科書の音読を宿題として課し、定期的に音読テストを行うことで形成的評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で、音声と文字の関連性（フォニックス）について意識を高めながら音読指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見や考えについて即興で話す活動を多く設定し、学習した知識を活用することを意識させる。</li> <li>・デジタル教科書を活用し、生徒が個人のペースで英文を読む時間を設け、英語らしい発音やイントネーションに意識を向ける機会を増やす。</li> <li>・帯活動として、100語程度の読解を毎回行い、長文対策を行う。</li> </ul>
-----	---	---	--

評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業アンケート結果による達成度評価</li> <li>②パフォーマンステストの結果</li> <li>③定期テストの結果</li> </ul>
---